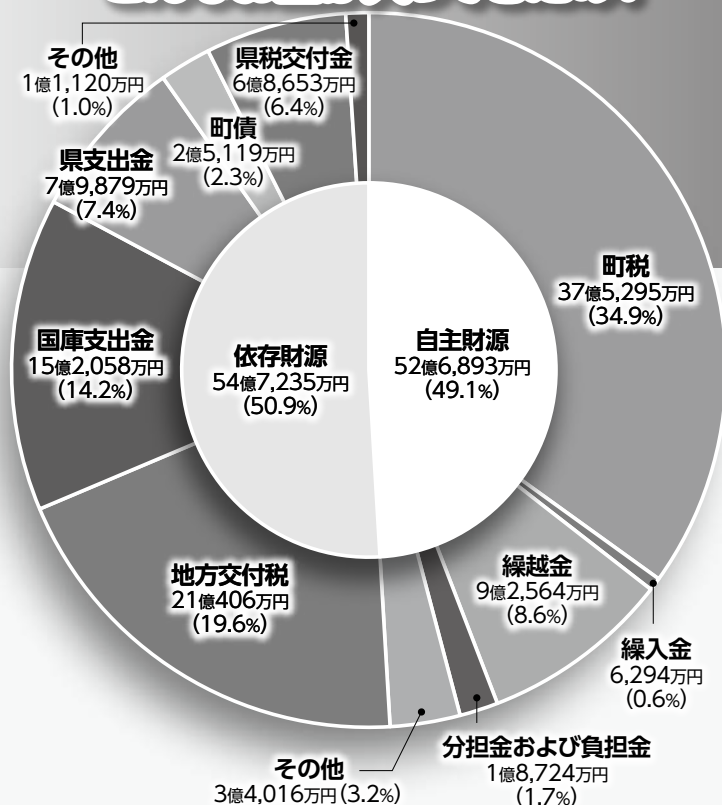


令和5年度の決算をお知らせします。決算は1年間の事業内容を歳入（収入）と歳出（支出）で表したものです。令和5年度は、「時代の変化に対応し だれもが輝きともに創るまち“日野”」を将来像として掲げた「第6次日野町総合計画」の3年目として、時代の変化を見据えた日野町の未来への投資となる施策や、物価高騰対策等の緊急的な施策、町の将来発展と持続可能性を両立するための積極的な取り組みを行いました。

決算報告

令和5年度

どんなお金が入ってきたの？



(町に入ってきたお金)
一般会計 **歳入**
107億4,128万円

- 歳入総額は、前年度と比較すると、国庫支出金や町債等が減少しているものの、地方交付税等が増加したことから、総額2,160万円増加しました。
- 国庫支出金は、新型コロナウイルスワクチン接種事業の縮小等により減少しました。
- 地方交付税については、算定基準となる財政需要が増加している一方、町税等の収入額が減少したことから、前年度に比べ大幅に増加しました。

※歳入・歳出のグラフは各項目で四捨五入しているため、合計および割合が一致しない場合があります。

用語の解説 歳入

- 自主財源 町が自主的に調達できるお金です。
- 依存財源 国や県の基準に基づき交付されるお金です。
- 町税 皆さんから町に納めていただいた、町民税、固定資産税、軽自動車税等です。
- 地方交付税 各市町村間の財源の不均衡を調整するために、国から一定の基準により交付されるお金です。
- 国庫支出金・県支出金 町が実施する特定の事業に対して、国や県から交付される補助金等です。
- 町債 町の運営を行うために国や銀行等から借入れるお金です。

必佐学童保育所「第3太陽の子」の整備



9,036万円

児童が安心・安全に多様な活動等を行うことができるよう、必佐学童保育所「第3太陽の子」の整備を行いました。

農薬価格高騰に伴う助成事業



881万円

農業用資材や燃料、農薬等の物価高騰の影響を受ける農業者への支援として農業組合等へ補助金を交付しました。

町内小学校における遊具整備



1,420万円

教育環境の向上を図るとともに、子どもたちの遊び場を確保するため、寄附金を活用して、各小学校の遊具整備を行いました。



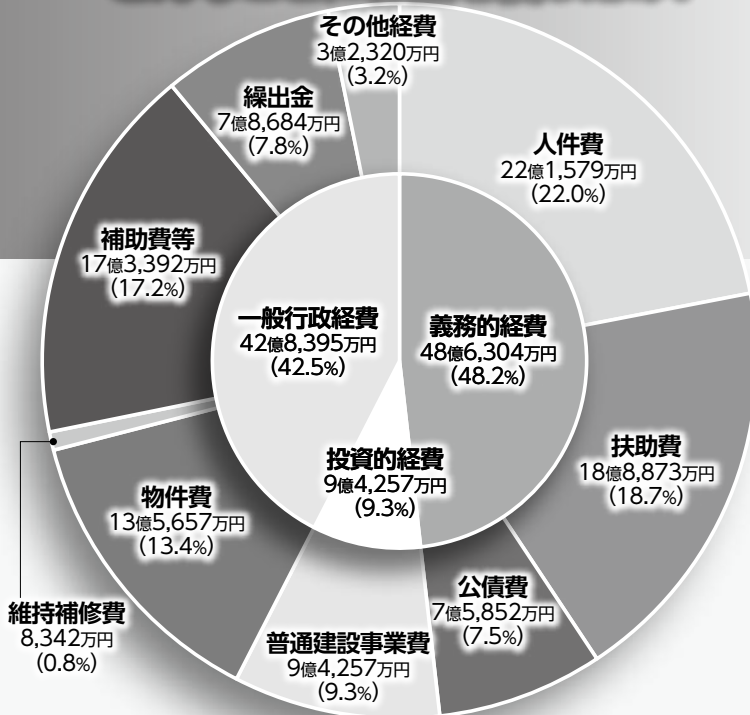
主な事業では、子育て施策において、必佐学童保育所「第3太陽の子」の整備、高校生等の入院時の医療費の無償化、小・中学校のフリースクール利用助成、国の補助金を活用した出産・子育てへの伴走型相談支援や給付金の支給等を実施するとともに、これまで実施してきた町独自の施策も引き続き展開しており、「わたむき自動車プロジェクト」の推進、「ひの若者会議（仮）」の開催、農業支援として移住・就農支援事業や特産物振興、G I 認証を取得した日野菜の振興対策等を実施しました。

また、施設の長寿命化改修のため、大谷公園体育館屋根・照明器具改修工事や各小学校体育館の水銀灯のLED化、わたむきホール虹の舞台機構設備改修工事等、多方面にわたる事業を実施しました。

(町が使ったお金) 一般会計 歳出 100 億 8,956 万円

- 歳出総額は、前年度と比較すると、物件費および公債費等は減少しているものの、人件費や扶助費、補助費等が増加したことから、総額2億9,552万円増加しました。
- 歳出の内容では、施設の長寿命化による大谷公園体育館屋根・照明器具改修工事、必佐学童保育所「第3太陽の子」の整備のほか、生活基盤として道路新設や維持補修等を実施しました。また、今後の子育て支援に必要となる事業に備え、「子育て未来基金」等への積立てを行いました。

どんなことにお金を使ったの？



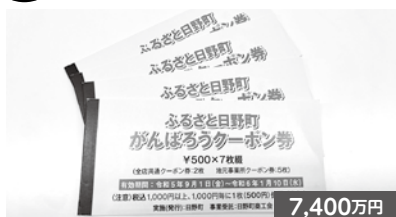
用語の解説 歳出

- 義務的経費 支出することが義務付けられている経費です。
- 投資的経費 公共施設の整備や大規模修繕等の経費です。
- 一般行政経費 上記以外の経費です。
- 人件費 議員等への報酬や職員の給与等の費用です。
- 扶助費 子育て世帯や高齢者、障がいのある人への支援費用です。
- 公債費 町の借入金の返済費用です。
- 普通建設事業費 道路や公共施設の整備等、将来への投資費用です。
- 物件費 光熱水費、消耗品費、備品購入費等です。
- 補助費等 消防やごみ処理等の広域行政への負担金や、自治会や団体等への補助等の費用です。

令和5年度に実施した主な事業



「ふるさと日野町がんばろうクーポン券」配付



物価高騰への対策および町内の商業活性化を図るため、「ふるさと日野町がんばろうクーポン券」の配付事業を行いました。

7,400万円



大谷公園体育館長寿命化工事(屋根・照明)



施設の老朽化に対応するため、町の長寿命化計画に基づき大谷公園体育館の屋根・照明器具の改修工事を行いました。

1億475万円



地域公共交通の活性化「わたむき自動車プロジェクト」の推進



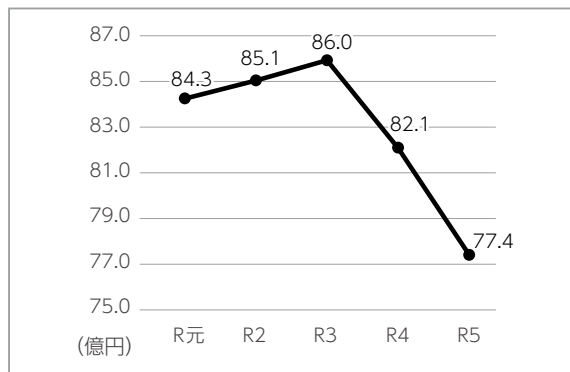
地域交通の利便性向上を目的として、乗り合い送迎サービス「チョイソコひの」など公共交通活性化に向けた取り組みを行いました。

4,186万円

将来に負担を残さぬよう、着実に返済を進めつつ、積み立てています。

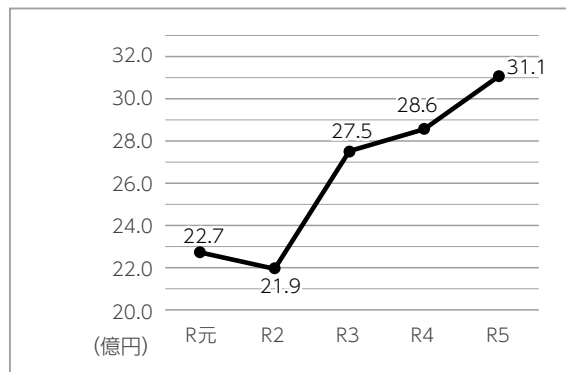
町の借金と貯金

町債残高(借金)



町債は道路等の公共施設の整備・維持管理等のために借り入れしている借金です。令和5年度は臨時財政対策債の発行額が減少したこともあり、町債残高が減少しました。

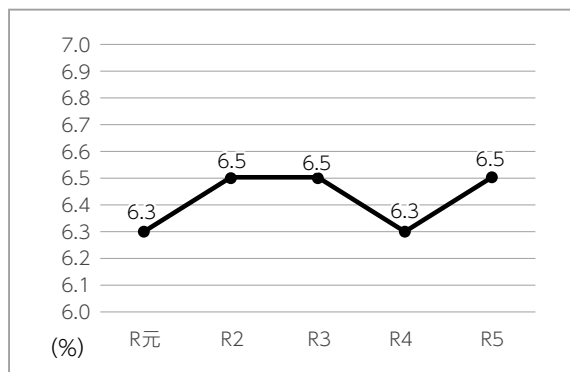
基金積立額(貯金)



町の貯金である基金は、突発的な災害等への対応や公共施設の長寿命化対策等、今後の財政需要に備えるために積み立てています。

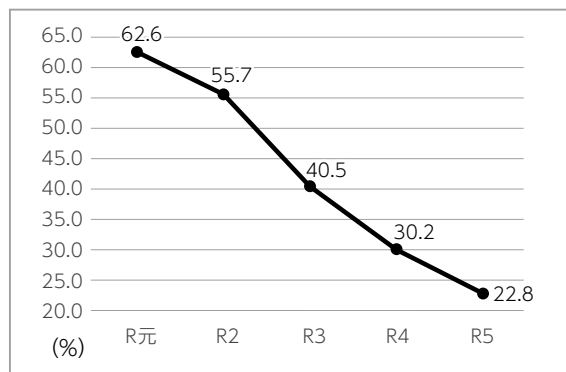
健全化判断比率

実質公債費比率



実質公債費比率は、年間の借金返済の大きさを表しており、比率が高いほど、借金返済の資金繰りが厳しいことを表しています。近年は同水準を推移しており、今後も引き続き適正な借り入れを行う必要があります。

将来負担比率



将来負担比率は、将来に負担が見込まれる負債の大きさを表しています。借り入れた借金の返済を着実に進めていることから、前年度と比較して7.4%減少しています。

財政の健全化を示す指標は、いずれも早期健全化基準（実質公債費比率25%、将来負担比率350%で、この基準以上になると、早期に改善が必要とされます。）を大きく下回っており、町の財政状況は健全であることを示しています。

◆問い合わせ先 総務課 財政担当 ☎ 0748-52-6500